

【めむろ未来ミーティング日程3】

令和7年1月9日(木)

10:00~11:08

- 参加者 16人
- 芽室町 町長、副町長、教育長
農林課長、環境土木課長、
魅力創造課参事、政策推進課長
- 記録 広報広聴係

■対応・検討が必要な事項

①10線の防風林が老朽化して危ない(農林課)

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項
資料1 ゼロカーボン
資料2 新嵐山スカイパークグランドデザイン
- 4 意見交換

【参加者】

コンビニ交付について、今までのカードであれば変な話、家族の分も代表で持って行って、親の証明書も代理で取得できていたが、マイナンバーになると、マイナンバーカードがないとそういうこともできなくなるのか。

【副町長】

今も一人一枚カードを持っているため、誰が行くかは別として、自動交付機でできる。あまり大きな声では言えないが、マイナンバーカードも同じカードなので、カードを入れて暗証番号さえ分かれば家族でも取れる。

【参加者】

保険証としても使用するの、持って歩きにくくなる。

親の印鑑証明をめったに取ることはないが、借りに行くのも面倒な状態である。

【副町長】

条件的には本人が行かなくても取れる。

【参加者】

引き続き事務所でも手書きの申請ができるのか。

【副町長】

できる。

【参加者】

南小学校の合併に関して進ちよく状況を分かる範囲で知りたい。

【教育長】

学校配置計画については、今の計画が平成30年度に決めて、令和元年度から令和8年度まで続く。計画の主な中身は小学校も中学校も単級、つまり学年に一学級あることが原則ということになっている。複式になると基本的に統合の対象になるが、南小でいうと令和8年から複式の対象になるということで、昨年南小のPTA役員、PTA全員に、1月27日には地域の皆さんにもご案内をして、情報提供や意見交換をさせていただいている。令和9年度からの8年間の配置計画を令和7年度と8年度で決めていくということで、いま下準備で意見交換をしている。現行の配置計画のポイントを重視しながらどう変えていくかということで、今の配置計画もトップダウンで決めたわけではなく、学校、地域の皆さんの声も伺いながら決めているので、同じ流れでいきたい。地域全体の出生数がここ2年100人を切っているの、南小だけだとか、上小のことだけではなく、町全体のこととして、地域全体にアンケートを取りながら、そのアンケートをもとに協議会も立ち上げて、その案を示しながら地域の方と説明会、意見交換を2年かけて慎重に進め、令和9年からの8年間の配置計画を定めていきたい。

【参加者】

6月30日以降は自動交付機のカードは不要になるのか。

【副町長】

自動交付機のカード自体は印鑑証明の印章と紐づいていて、6月30日以降であっても窓口で交付する場合は窓口に提示してほしい。窓口交付の場合、マイナンバーカードは不要。

【参加者】

パークPFI制度についてももう少し詳しく知りたい。

【魅力創造課 参事】

これまで都市公園の中で商業施設は建てられなかったが、国が法律を変え、民間に公園内の土地をお貸しして、商売をしてもいいということになった。それがこのパークPFI制度で、有名なのは大阪城公園にスターバックスコーヒーが出店している。ただ、その商業施設で得た収益の一部を公園の整備費用に充ててほしいという条件がある。儲けの一部をいただくことで、市町村の負担が減り、かつ町民の皆さんが利用しやすい商業施設が建ち、魅力ある公園になる。もともと芽室公園の再整備の構想を今年度、来年度にかけて立てるときに、パークPFIという国の新しい制度を活用できないか考えていて、去年の未来ミーティングでメンバーのショップの誘致に関する要望を皆さんから多くいただいていたので、この制度を使って誘致できないかの確認をしている。あくまで公園にお店を建てるのは民間であるため、昨年末に聞き取りをして、数事業者から前向きなお話をいただいている状況。ただ、これは公募したわけではないので、実際に公募したとき、何社に手を挙げてもらえるかはわからない。

【町長】

今は公園でいろんなことをやるのに成り立つかどうかを調べてもらっている段階。それが、民間事業者としても賄えるという話になってくると、今度は事業者の募集ということになる。PFIという言葉が<プライベート・ファイナンス・イニシアチブ>といい、要するに公的なお金じゃなくて、民間のお金を投資して、そこで整備

してもらおうという制度。それをやってくれる事業者をこれから募集していく。計画があって、その提案の中にモンベルショップを必ず入れてくださいと言っている。プラス、商業施設的なものや飲食のものなど、そういうところもおそらく提案してくれると思うので、それを芽室公園一帯の中で整備してもらおうという流れに持ってきてほしい。町としてのお金は、初期投資はかからない。これは民間の資本でやっていただく。ただ、現実には公園の管理料は、町のものなので支払っていかねばならない。そのとき、儲けていけば、町の負担も軽減できるという仕組みになっている。

それと新嵐山の整備は、これとはちょっと別の話で、そこは民間資本ではなくて、公の資本で今ご説明したようなことをやっていく。ご質問にはなかったが、いろいろ施設を建てていくなかで、国からの補助金、交付金など、町が直接出さない方法を、少しでも少なくできるかを考えている。

【参加者】

宿泊施設は建てないのか。

【町長】

宿泊施設を町で建てる考えはない。皆さんにご迷惑をかけたが、新嵐山株式会社が倒産した。その時の決算を見てみると、圧倒的に宿泊部門が赤字であった。資金繰りが悪くなった要因にもなっていて、なかなかニーズとして厳しいと思う。町民の皆さんが泊まることもあまりないので、町民からも実は宿泊施設の要望があまりない。ただ、観光拠点として考えたら、ほかのところから来ていただいて、泊まっていただくというのはあると思う。それで考えているのが、民間活用ゾーン。ここで民間の方々がやっていただければ、整備の可能性はあるというような形にしている。令和8年度に民間の方々に公募をかけて、もし活用の想定があるということであれば、公募していきたいと思っている。

【参加者】

展望台をきれいにしてほしい。あそこからの景色が良く、インスタでも上からの景色を見る。

【町長】

おっしゃるとおり。いろいろご意見いただくと「先に展望台じゃないの?」というお話もいただくことが多い。トイレもあのような状態で、展望台自体も古くなっている。スケジュールには、改修時期が未定となっているが、少しこれを考えたいと思っている。都市公園に入れると、国の交付金が受けられる条件になる。そういったものを使いながら、展望台もできないか考えているところ。悩みは水や電気が整備されていないところ。もう一つは道。林道をあがっていくが、あれは林業用の管理道なので、観光用に使うものではない。農林課所管の林道であって、整備をしたらどれぐらい費用がかかるのか以前計算してみたところ、当時で3億円ぐらいかかるということで、なかなか厳しいと思っている。リフトのかけ替えを考えたときに、夏場もリフトで頂上まで上がれるという発想があればいいとも思っているが、リフトも過去の試算では2本とも換えると8億円かかる計算で、今の物価高騰を考えると、1.5倍の12億円くらいはかかると思う。2本とも換えるのは難しい。さらに小雪で雪もないため、スキー場もどこまでできるのか、厳しい状況であると思っている。通年で使えないと、費用対効果もないという考え。

【参加者】

カフェで食事をしていて、レンタカーで来ていた旅行者が「次どこ行く?どこもないよね」という話をしていてとても悔しかった。新嵐山の展望台が見られたら紹介できるし、途中で良いお店があればいいのと思っている。ひとつが国道にモンベルのお店を出したとして、そこで止まってしまうのではないかと。そこから新嵐山まで行ってくれる何か目的があれば、例えば限定品、ここでしか買えないというのであれば行く。そういうものを目指していただきたい。

【町長】

まちなか再生の部分でも、国道沿いに持ってくると、駅周辺にお客さんを引っ張れないのではないかと、新嵐山ももっと連動したらいいのではないかと、という

ご意見もいただいている。けれども、あそこで一定程度集客できれば、今度はいかに連携、連動していくかというところを商店街も含めた皆さんと一緒に考えていかなければならないと思っている。ただ、なかなか行政で全部はできないので、商店街の皆さんと一緒に知恵を出し合いたい。

【参加者】

松久園が老朽化によって2月で食事ができなくなるという話だが。

【町長】

今、引き継いでくれるところがないか、いろいろな仕組みを使ってやってはいる。いい資源ではあるので、もったいなく思う。いずれにしても整備をしていくと、もっとPRして、いかに町内循環してもらえるかを考えなければいけないと思っている。

【参加者】

リフトの架け替えについて、計画を立てながら、お金のことなどをこれからどうするかということだと思うが、美唄市の市設スキー場が近々建て替えるにあたって、防衛省の予算を使いながらという話を聞いた。新嵐山を帯広駐屯地が使用していることも考えると、ゆくゆくはそういった方面の予算を含めることも見込みとしてあるのではないかと。将来的にまだ時間もあるということも含めて、アプローチをすることはできるのではないかと。あくまでも町内だけに限らず、利便性を考えて広く十勝で使えるところを考えると、そういったところも含めてできるのではないかと。ただ、それも水面下ではなく、ある程度町民の理解を得ながら進めないとデリケートな部分もあると思う。お金の部分と理解を深める部分、両面で進めていただきたい。

【副町長】

新嵐山を自衛隊の訓練で使っていただいているので、私と担当とで昨年、帯広の駐屯地経由で札幌の防衛省本部に相談に行った。結論から言うと、防衛省の補助というのは、防衛省や自衛隊の施設がなければだ

メという大前提があって、町内には施設がない。なので「何も建物がないとダメです」という言い方をされてしまった。現時点ではその目は正直ない。石破総理に代わり、地方創生がまた新たになる。実は遠軽町のスキー場が地方創生の交付金を使って、リフトも道の駅も全部リニューアルをかけている。そうことも視野に入れながら、今後も資金集めを継続していきたいと考えている。

【参加者】

⑩10 線防風林が老朽化していて、70~80 年たっているかなり危ない木も多々ある。また、保全組合で草刈りもしているが、昨年の秋くらいから急激に草が伸び視界不良になっている。明渠もぐにやぐにや。新嵐山の景観を良くするという話もあるのであれば、幹線道路の草刈りなど、安全確保も必要な課題だと思う。部分的には間伐や枝払いをしてもらったが、雑木がものすごくある。自分たちは西の方にいるので、逆に風通しが良くなってもらった方がいいが、10 線道路のことを考えるとブロックしてもらった方がいい。そのかわり、①枝がものすごく落ちる。この道路は皆さんもすごく通っていると思うので、道道であるが対応をしてほしい。

【町長】

先日、上伏古の方々からも交差点で見にくいところがあるなど、雑木の話もあったので、具体的な場所を言っていただければ確認する。交通安全面でも繁茂して見えなくなることがあると思うので、やらなければならない。保全組合でやっていただいているところと、そうでないところがあるのも承知している。あとは防風保安林ということにもなっているの、町もいろいろなところと連携しながら対応していきたい。具体的には農林課長から説明する。

【農林課長】

10 線防風林については、ご存知のとおり毎年度予算を持って、ご要望をいただいたときに下刈りを枝払いも含めてしている。雑木についても倒れかかったりしている木も認識はしている。町長も申し上げたよう

に保安林になっているので、簡単に切ったりすることはできないが、景観や安全面の問題もあるので、森林組合とも相談をする。10 線防風林も 10 キロ近くあるため、一度に全部できないということと、13 号までが道道で、それ以降が町道になっている。行政の縦割りの話で申し訳ないが、道とも相談をしながら検討させてほしい。

【町長】

私たちがパトロールをしているが、農業者の皆さんのように大型機械に乗ると感覚が違うと思う。正直申し上げると、場所とかを言っていただいた方が私たちとしても早く対応できる。

【参加者】

⑪13 号から南の方で木が当たるところがあるので、なおしてほしい。言おう言おうと思っていたところ。

【参加者】

自分らの親の代が植えた木だという話をよく聞く。いつまでこの木を大きく育てるのか。全部を切ってしまう話ではないが、半分切って植えていくなどしてほしい。10 年位前に間伐という形で防風林も間引きをしてもらった。次はないのかと聞くと「しばらく予算がないので」という話だった。条件が良くなるともっと太くなってくる。そうなる西には強いが東風の台風のときにバタバタと倒れる。間引いてほしいという要望もあった。

【町長】

防風保安林は確か 40m ぐらいあると思うが、そのうち 20m までしか入れ替えが出来ない。制度も変わっていないと思う。だから段差になるのだと思う。それと特徴として、針葉樹や広葉樹などいろいろな木が植えられているところもあって、伸び方も違うし、管理の部分でもいろいろ考えなければならない部分がある。道道という部分もあるので、予算も含めて北海道などとも連携してやっていかなければならない。一気に全部解決できない部分はあると思

うが、しっかり記録にも残すし、道の建設管理部の担当者にも話をする。

【参加者】

関連して、東西の14号と7号も国有林か。

【町長】

東西は防風保安林ではないか。少し基準は緩いと思う。だけど皆伐は難しいと思う。やれても間伐になる。

【参加者】

3年4年前の12月の大風で、特に14号の方は、中で結構倒れたりして、1か所は住宅の道路まで倒れたりしている。年数がたつと空洞になって危ない。10線も含めて森林の保護を適正に管理していただきたい。

【参加者】

ゼロカーボンについて、手を挙げたのは十勝で何番目か。

【町長】

19市町村中、18番目。

【参加者】

それで国の補助が入るのがかなり遅ってくる。もう少し早く手を挙げてほしかった。手を挙げたことでいつかは補助が入ると思う。その国からの補助については、ぜひとも皆さんに周知してほしいという要望と、新嵐山の件とうまく兼ね合わせて新嵐山のところをオール電化の施設にできないか。そのオール電化の財源をバイオマスプラントをうまく活用して、24時間バイオマスプラントでエネルギー供給できるので、新嵐山のリフトの改修等も今はエンジンだと思うが、電気のモーターとかでやれる環境になれば、夏でも冬でも使えると思う。暖房についても冷暖房のエアコンにうまく活用して、オール電化の他の市町村がうらやむような、モデルケースになりうる施設になったらよいのではないかな。あと、今整

備している施設もドッグランやキャンプなど、いろいろ予定はしているみたいだが、1週間に1回か2回、土日に来て、宿泊施設は無理だと自分も思うが、今のサウナのはやり具合を見て、あの自然環境の中でそういうものをうまく活用すれば、町内に温泉施設が無い中で、町民としては、他の所のサウナに通っている方も結構いると思う。毎日通える施設をあそこに1つ作っておくと少しは違うと思う。対町民向けでも良いし、うまくはいけば他からも人を呼べるようになる。そして人が集まれば、民間企業もここで商いをしようという流れになるのではないかな。

【町長】

まずゼロカーボンの関係で、確かに芽室町は19市町村中18番目だった。「十勝は全部ゼロカーボンシティ宣言しましょう」と決めていて、18番目になった。これは私の責任もあるが、工業団地も含めて二酸化炭素をどんどん出す町として、今までそういう町づくりをしてきていた。良い悪いは別として、発展するためには仕方ないことだったと思う。例えば、森林吸収量は、上士幌町や本別町、足寄町などと比べたら少ない。だから、ゼロカーボンに持っていくためには、きちんと計画を立てて、ゼロカーボンシティ宣言をしなければダメだと思った。ただ宣言をして、じゃあ具体的に何をやるのかということになったとき、何もないというのはまずいと思った。その計画が去年の5月にやっとできた。だから皆さんにもお願いしているとおり、これから民間の方々あるいは町民の方も含めて、ゼロカーボンに持っていきたい。国の補助は、実は少しこのこととは違って、例えば十勝だと先行地域全国100に、上士幌町と鹿追町が入っている。確かにこの2つの町は割と補助ももらっているが、その後の重点地区になっている本別町の話のいろいろ聞いてみると、意外と補助の採択になっていない。上士幌町長も鹿追町長も、選ばれたのはいいが国の財源が今ひとつついてきていないと言っていて、要はずごく薄まっている。国全体でゼロカーボンと言っているものの、省別でいうと環境省はお金的にも弱い。でもこれは国に対して言っていかなければダメだと思っている。国が

やると言っているのだから。言い訳ではないが、そういう要望活動がこれから必要だと思っている。地方創生交付金を倍増すると言っているが、どうなっていくのか、今僕らは見ているところ。ちゃんと宣言したので、本格的にそして具体的に進めなければいけないと思っていて、資料にもある通り、町として電気機器の買い替えなど、省エネ対策に補助事業を考えたいと思っている。逆に町がその補助を出したときに「国としても支援してくださいよ」と言っていないとダメだと思っている。

それと温浴施設については、私も同じ考えで、どちらかという温浴施設は町中の方で整備できないかなという感覚を持っている。宿泊施設と温浴セットで、まちなかでできないかというのを実は思っていて、前からまちなか再生のポイントとしても挙げている。例えば、フェーリエンドルフの横に株式会社そらがサウナを作った。あのような感じで、温浴だけ作ってもらうのも非常に良いと思っている。町の責任としては、特に生活困窮者で風呂のない人のために銭湯を整備しなければならない義務がある。今現実にはプールの中に浴槽をつくってもらっているのだから、それを銭湯として位置づけているが、あれで満足しているわけではない。サウナブームもあるので、まちなかでできないかとは思っている。ただ、これを町の直営では考えていない。なので、きちんとした土地が整備できれば、それこそ民間の力で整備できる場所、手を上げてくれるところがあると嬉しい。これをずっとできなくて、公で始めたのが足寄町で、最後までやってくれなくて、公で温浴施設をつくった。非常に大きな課題として捉えているので、新嵐山の整備も含めて考えたいと思う。

あと、エネルギーの活用は本当にいい話だと思うので、手法がバイオガスプラントかどうかは別として、検討させてほしい。

【参加者】

サイクルツーリズムが最近きている。大学の実業団などが練習や遠征で新嵐山の方で走っていて年々増えてきていると感じる。安全対策をしないとまず

いのではないかと。普通車だけではなく、特殊車両やトラクターも走るので、危険を感じる。増えてくるのはいいが、増えてくる分リスクも増える。何かあればそういったものもダメになってしまう。

【町長】

実はトカプチ400に芽室町は入ってなくて、サイクルツーリズムで盛り上げようとした時に、サブルートのようなものに手を挙げて、近々認定されると思う。それぐらいサイクルツーリズムに力を入れようとしているが、おっしゃるとおり安全対策は困る感じはある。では10線で、サイクルツーリズムで走られたりしたら、これも厳しい。よく青い矢印で整備しているところがあるが、トカプチ400のようなものに認定されるとお金はつきやすくなるので、少し安全対策にはプラスになる感じがしている。

【参加者】

13号の近辺に住んでいるが、坂になっているので、実業団の練習などによく使われている。ブラインドコーナーにもなっているので、大型ダンプなどで通ると危ない。ただ、練習にはちょうどいい坂であることは理解している。

【町長】

承知した。日高山脈も国立公園化されたので、景観を見ながらサイクリングのようなものも頑張っただけでやりたいなと思っている。

【参加者】

以前から高校生のホームステイの受け入れをしているが、新嵐山にお風呂と食堂があったのが一番良かった。あのような形を望む。

【町長】

温浴の部分は先ほど言ったような話になる。食に関しては、地域の食堂のような形で使ったと思う。その機能はこの6番の施設の中に「食」と書いてあるように、戻したいと思っている。例えば、皆さんが夏場に農機具会社やそのような会社の人と食事

に行くことがあったときに使えるようなイメージを持っている。地元食堂のような感じ。温浴までは今言えないが、以前のように戻したい。

11時08分終了

